

2017（平成 29）年度

日本医学会事業計画

2017年2月17日

日本医学会

目 次

1. 第30回日本医学会総会	1
2. 日本医学会シンポジウム	1
3. 日本医学会公開フォーラム	2
4. 医学用語管理事業	2
5. 日本医師会医学賞・医学研究奨励賞選考委員会	3
6. 日本医学会加盟検討委員会	3
7. 日本医学会「遺伝子・健康・社会」検討委員会	4
8. 「母体血を用いた出生前遺伝学的検査」施設認定・登録部会	4
9. 日本医学会利益相反委員会	4
10. 日本医学会分科会利益相反会議	4
11. 日本医学雑誌編集者組織委員会	5
12. 日本医学雑誌編集者会議 (JAMJE)	5
13. 研究倫理教育研修会	5
14. 移植関係学会合同委員会	5
15. 予定される諸会議	6
16. その他	7

1. 第30回日本医学会総会

「第30回日本医学会総会2019中部」(会頭:齋藤英彦,副会頭:松尾清一,柵木充明,郡健二郎,森脇久隆,駒田美弘,今野弘之,星長清隆,佐藤啓二)は,中部地区において,2019(平成31)年4月27日(土)~29日(月・祝)の3日間にわたって学術講演を,また2019(平成31)年4月26日(金)~29日(月・祝)に学術展示,2019(平成31)年3月30日(土)~4月7日(日)に市民展示,2019(平成31)年3月2日(土)~4月28日(日)に医学史展を開催する予定である.

会場として,学術講演は名古屋国際会議場と名古屋学院大学校舎,学術展示は名古屋国際会議場とポートメッセなごや,市民展示はポートメッセなごや,医学史展は名古屋大学博物館の使用をそれぞれ予定している.

「第30回日本医学会総会2019中部」に向けて,2017(平成29)年度中に予定している準備事項は次の通りである.

- 1) 学術プログラム案の決定
- 2) プログラム案に合わせた会場使用計画の策定
- 3) 展示開催内容の決定,具体案の策定
- 4) 募金活動の実施,支援企業へのアプローチ
- 5) 広報活動の開始,ホームページの開設・充実
- 6) 登録システムの構築,登録開始予定
- 7) 開会式,閉会式,交歓行事の内容決定
- 8) ソシアルイベントの種目決定,開催会場の選定

2. 日本医学会シンポジウム

日本医学会シンポジウムを下記のとおり予定している.

- ・第151回日本医学会シンポジウム

「医療における“賢明な選択(Choosing Wisely)”を目指して」

平成 29 年 6 月 1 日（木）日本医師会館大講堂

組織委員：小泉俊三（医療の質・安全学会理事／佐賀大学名誉教授）

山口直人（東京女子医科大学公衆衛生学第二講座教授）

・第 152 回日本医学会シンポジウム

「主題未定」

平成 29 年 12 月頃開催予定

組織委員：未定

3. 日本医学会公開フォーラム

日本医学会公開フォーラムを下記のとおり予定している。

・第 22 回日本医学会公開フォーラム

「生活習慣とがん－がんを予防し健康寿命を延ばそう！－」

平成 29 年 6 月 10 日（土）日本医師会館大講堂

組織委員長：津金昌一郎（国立がん研究センター社会と健康研究センター長）

・第 23 回日本医学会公開フォーラム

「主題未定」

平成 29 年 10 月頃（土）日本医師会館大講堂

組織委員：未定

4. 医学用語管理事業

医学用語管理委員会では、「日本医学会医学用語辞典 英和」の第 3 版 1 刷（平成 19 (2007) 年 4 月刊行）、「日本医学会医学用語辞典 和英」の第 1 版 3 刷（平成 14 (2002)

年9月刊行)を刊行しており、今後の改訂はWEBにて行う。

日本医学会医学用語辞典WEB版をホームページに掲載している。医学用語の標準化を進めるため平成26年4月からは一般公開している。

5. 日本医師会医学賞・医学研究奨励賞選考委員会

平成元(1989)年度より、日本医学会が医学賞・医学研究助成費に関する選考を日本医師会から委任され、審査を行ってきたが、平成23年度より、医学研究助成費は医学研究奨励賞と名称変更した。平成29年度も継続して実施する。

医学賞・医学研究奨励賞候補の推薦については、5月上旬に、日本医学会分科会長、大学院医学系研究科長または大学医学部長・医科大学長、大学附属病院長(本院)、関係機関長、都道府県医師会長などあてに依頼状を発送する予定である。7月上旬に推薦を締め切り、9月上旬、選考委員会において受賞者を選考する。なお、被推薦者は日本医師会会員に限るとされている。

受賞者は、日本医師会設立記念医学大会(11月1日)の席上において表彰される予定である。

6. 日本医学会加盟検討委員会

平成8(1996)年度より、日本医学会への新規加盟審査が新しい方式で行われているが、平成23年7月に新規加盟の審査基準を一部改正した。

平成29年度の加盟申請の公示は5月15日に行い、7月31日で締め切る予定である。また審査は9月から12月にかけて行われ、平成30年2月開催の定例評議員会で決定される。

7. 日本医学会「遺伝子・健康・社会」検討委員会

本委員会は、平成23年度に新設した委員会である。遺伝子情報が医療のみならず、科学的根拠が乏しいままビジネスに使われている状況があることから、健康、社会における国民の遺伝子情報の取り扱いについて、課題を検討していく。

8. 「母体血を用いた出生前遺伝学的検査」施設認定・登録部会

本部会は、「遺伝子・健康・社会」検討委員会の部会として平成25年3月に新設された。

本年度も母体血を用いた出生前遺伝学的検査の臨床研究施設の認定登録を行う。

9. 日本医学会利益相反委員会

日本医学会分科会での各専門学会の生命科学研究の推進において科学性、医学性、倫理性を確保しながら発展させるとともに、産学連携を透明性、中立性、公明性を担保に推進していくことを目的とする。

10. 日本医学会分科会利益相反会議

日本医学会分科会の利益相反担当者を集め、利益相反に関する情報伝達を行うことを目的とする。

11. 日本医学雑誌編集者組織委員会

本委員会は、各分科会機関誌の編集の現状を把握し、「医学雑誌の質の向上への寄与」、「海外の編集者会議との連携」に取り組むことを目的としている。

12. 日本医学雑誌編集者会議 (JAMJE)

日本医学会分科会が発行する雑誌の編集長を集め、WHO 西太平洋地域事務所ならびに医学雑誌編集者国際委員会との関連を持たせることを目的とする。

13. 研究倫理教育研修会

日本医学会分科会全体で、研究倫理のあり方、研究倫理問題の予防と発生時の対応について情報を共有し、各分科会会員の教育啓発に活かしてもらうことを目的として、平成 27 年度から、日本医学会連合研究倫理委員会、日本医学雑誌編集者組織委員会、日本医学会利益相反委員会合同で、「研究倫理教育研修会」を開催している。日本医学会分科会の倫理委員会委員長を中心に集め、医学研究倫理について広く議論する。

14. 移植関係学会合同委員会

本年度も引き続き、厚生労働省、関係学会と協議する予定である。

15. 予定される諸会議

1) 日本医学会協議会	12回
2) 日本医学会幹事会	1回
3) 日本医学会評議員会	1回
4) 日本医学会シンポジウム	2回
6) 日本医学会シンポジウム企画委員会	2回
7) 日本医学会シンポジウム組織委員会	2回
8) 日本医学会公開フォーラム	2回
9) 日本医学会公開フォーラム企画委員会	2回
10) 日本医学会公開フォーラム組織委員会	2回
11) 日本医学会医学用語管理委員会	3回
12) 日本医学会分科会用語委員会	1回
13) 日本医師会医学賞・医学研究奨励賞選考委員会	1回
14) 日本医学会加盟検討委員会	3回
15) 日本医学会「遺伝子・健康・社会」検討委員会	3回
17) 「母体血を用いた出生前遺伝学的検査」施設認定・登録部会	随時
18) 日本医学会利益相反委員会	3回
19) 日本医学会分科会利益相反会議	1回
20) 日本医学雑誌編集者組織委員会	3回
21) 日本医学雑誌編集者会議 (JAMJE)	1回
22) 研究倫理教育研修会	1回
23) 移植関係学会合同委員会	随時
24) その他の打合せ会	随時
25) 関連機関の行う諸行事・会議への役員の参加	随時

16. その他

以下の事項を予定している。

- 1) 「日本医学会シンポジウム記録 (DVD)」の発行と配布
- 2) 「日本医学会公開フォーラム記録 (DVD)」の発行と配布
- 3) 「日本医学会分科会一覧」の発行と配布
- 4) 「平成 30 年日本医学会分科会総会一覧」の発行と配布
- 5) その他日本医学会の会務遂行上, 必要な情報の収集と伝達および各分科会との連絡・調整を行う。